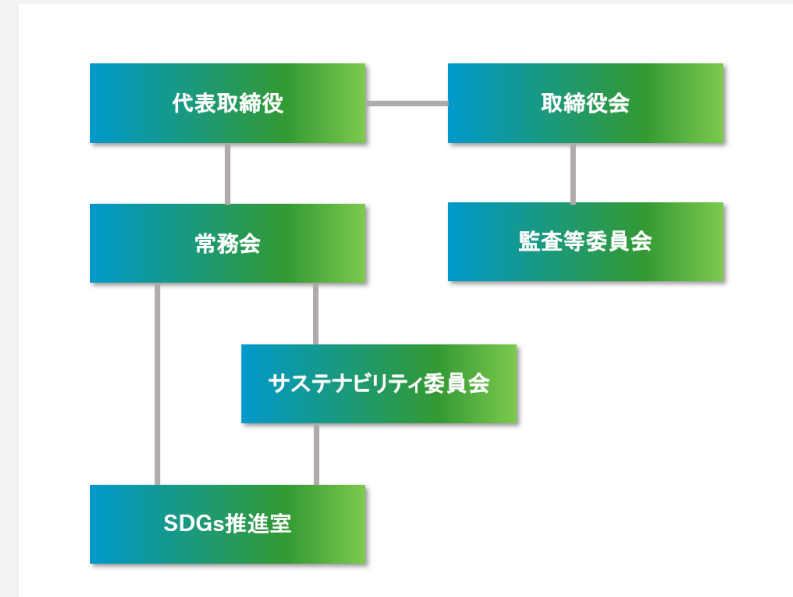


2023年度 サステナビリティ活動報告



SDGs推進体制および基本方針の策定

- テレビ朝日グループでは、SDGs推進室と各局室およびグループ会社の若手から中堅で構成されたSDGs推進チームが組織され、コンテンツ展開ならびに企業活動の両面からSDGsを推進しております。
また、2023年6月29日付で「サステナビリティ委員会」を設置。
企業の持続的成長や永続性に大きな影響を与えるリスクや機会について継続的かつ集中して特定・評価を行い、迅速に事業戦略へ反映していきます。



- サステナビリティ宣言、5つの重点テーマ（マテリアリティ）を策定しております。このマテリアリティは、当社グループおよび従業員にとって重要度が高い課題、視聴者・アドバイザー・株主などステークホルダーにとって重要度が高い課題をそれぞれ抽出し、これらを2軸として課題の重要性・優先度を分析した結果、設定したものです。
- この基本方針に沿って、コンテンツを通じてSDGs達成に向けた行動を呼び掛けていくとともに、自らもサステナブルな社会の実現に向けて行動し、企業としても持続的な成長を目指します。

サステナビリティ方針

サステナビリティ宣言

SUSTAINABILITY STATEMENT

テレビ朝日グループは、「より魅力的かつ社会から求められる情報やコンテンツを提供し夢や希望を持ち続けられる社会の実現に貢献する」という企業使命を実践し、持続可能な社会の実現とグループの発展を目指します

地球とともに

保有するすべてのメディアを最大限活用し、社会・環境の課題解決に向け、情報を発信し、コンテンツやサービスを提供します。また、企業活動を通して、課題解決に向けた取り組みを推進します。

人とともに

互いの人権や多様な個性・価値観を尊重し、すべての人が暮らしやすい社会を目指すとともに、グループで働く従業員・スタッフがやりがいを持ち、心身ともに安全に働き続けられる環境を保ちます。

未来に向けて

法令や社会規範に則った、公正で健全な事業活動を行い、すべてのステークホルダーと良好なパートナーシップを築きます。

サステナビリティ方針

未来に向けた5つの重点テーマ



すべての人が活躍する
未来の創造



人に優しく
共に生きる



地球の未来への貢献



テクノロジーで
新しい未来へ



いつまでも信頼される
会社に

活動報告



地球の未来への貢献

豊かで美しい地球を次世代へ継承していくため、環境問題の解決に取り組みます。また、災害報道を通して、自然災害から身を守る行動をメディアとして社会へ呼びかけていきます。

- 報道・情報番組を中心にSDGsの取り組みを集中して放送する「未来をここから×SDGsウィーク」を、9月、2月に展開しました。9月には、気候変動をテーマに記者2名による「未来をここから×北極ノート」で地球温暖化の最前線を伝え、「SDGsスペシャル 再エネ革命!ニッポンの挑戦」や「しあわせのたね。」等で、貴重な取材に基づいた企画や特集を発信しました。

未来をここから×
SDGsウィーク

延べ番組数 **70**番組



SDGs



- 国連とメディアの連携によるSDGs達成に向けた枠組み「SDGメディア・コンパクト」の加盟社として、気候変動対策キャンペーン「1.5°Cの約束」を展開しました。NHKを含む在京6局の合同番組「1.5°Cの約束 いますぐ動こう、気温上昇を止めるために (NHK総合 9月24日(日) 10:05~)」の放送や、より多くの人々が考え、アクションを起こすきっかけになるよう、気候変動をテーマにした共同制作動画を発信しました。



活動報告



地球の未来への貢献

豊かで美しい地球を次世代へ継承していくため、環境問題の解決に取り組みます。また、災害報道を通して、自然災害から身を守る行動をメディアとして社会へ呼びかけていきます。

- BS朝日では「バトンタッチ SDGsはじめてます（土曜 18:30～）」、「つながる絵本for SDGs（木曜、金曜20:54～）」のSDGs関連番組をレギュラー編成しております。加えて、気候変動をテーマとしたスペシャル番組「地球クライシス2023～気候危機 転換への道しるべ～第7弾（9月24日(日) 21:00～）」「地球クライシス2023～気候危機 転換への道しるべ～過去から未来へのカウントダウン 第8弾（1月6日(土) 21:00～）」「地球クライシス2023 第9弾（3月31日(日)21:00～）」の放送、「地球のあしたを考えようWEEK（9月18日(月)～24日(日)）」を展開しました。



地球のあしたを考えよう
ウィーク

延べ番組数 **10**番組

- YouTube「REC from 311」で東日本大震災の被災地復興の推移を伝えています。
- 動画情報防災サイト「まいにち防災」で、テレビ朝日系列26局の災害の記録を日めくりカレンダーと地図形式で公開しています。



活動報告



地球の未来への貢献

豊かで美しい地球を次世代へ継承していくため、環境問題の解決に取り組みます。また、災害報道を通して、自然災害から身を守る行動をメディアとして社会へ呼びかけていきます。

- 美術セット廃材を再活用する「art to ART Project」ではさまざまな取り組みを行いました。「METROCK 東京」や「テレビ朝日・六本木ヒルズSUMMER STATION」での空間演出、マンションでのコンセプトルームプロデュース、「ARTBAY TOKYO ART FESTIVAL」での廃材を活用したオブジェの制作・キッズ向けワークショップやアートツアーの実施など、廃材をリサイクルするだけでなく、新たなアート体験を創出することで、環境問題をより身近に感じていただく機会を提供しております。
- テープメディアのリサイクル化、バーチャルセットの活用による美術セット廃棄物の削減、一部番組でのニュース原稿タブレット化など、環境負荷の低減に努めています。
- 5月に当社の気候変動リスクなどへの対応について、TCFDの提言に沿った情報開示を行いました。
- 節電やスタジオ照明設備のLED化により、本社スタジオ設備の消費電力を2020年度比で29.0%削減しました（2030年度目標：50%削減）。テレビ朝日本社ならびにアーク放送センターにグリーン電力を導入したことによる再生可能エネルギー比率は約10%となり、約1,500トンのCO2排出量を削減しました（2030年度目標：再生可能エネルギー比率100%）。



活動報告



すべての人が活躍する 未来の創造 コンテンツを通して、子供からシニア層まであらゆる世代の人々に“学びの場”を提供していくとともに、その先にある“人々が活躍できる社会”の実現に貢献します。

- 「学び」と「エンターテインメント」を融合したオンラインフェス「SOZOW FES 2023 Summer with テレビ朝日」などの事業連携を通じて、全国の子供たちに新たな学びや体験を無料で届けるとともに、起業家等との交流の場を提供しました。
- 全日本大学駅伝では、「未来にタスキをつなごう」を合言葉に、SDGs活動に取り組んでいる学生をテレ朝スポーツ公式YouTube「背番号5」にて発信しました。立命館大学による部員が作り上げる地域貢献・生涯スポーツ支援活動や、帝京大学による古着継承や徹底したゴミ分別の環境保全活動を紹介しました。
- 情報・社会教育支援活動の一環として「出前授業※」「テレ朝出前講座」「館内見学」を継続的に実施しています。2023年度は、デジタル化の推進により「対面」「オンライン」のハイブリッド体制を強化し、「テレ朝出前講座」は歴代最多の回数を実施しました。

※小学生向けには「ニュースが出来るまで」などの情報学習、中学生向けにはテレビ局の様々な職種や業務についての総合学習、高校生・大学生向けには「メディアリテラシー」や「ジャーナリズム」などのテーマで、社員・スタッフが出向いて／オンラインで行う授業。



【2023年度】

出前授業

87回実施、9,099名参加

テレ朝出前講座

47回実施、3,396名参加

活動報告



テクノロジーで新しい
未来へ

テクノロジーの進化により、人々の生活が急速かつ大きく変化するなか、最新鋭の技術を伝えていくとともに、日々の活動にも取り込みます。

- レギュラー番組「発進！ミライクリエイター（日曜 11:45～）」では、世界や日本の未来を変えるかもしれない最新の研究に取り組む若者を紹介しています。
- 「新世界 メタバーズTV!!（日曜 10:00～）」と連動で街を建設する番組オリジナル仮想都市「光と星のメタバーズ六本木」では、現在までに150回以上のイベントを開催し、延べ165万人以上のお客様に会場頂いております。
- 2023年1月にメタバーズアイドル「めたしっぷ」を開発し、自社IPとして番組・イベント・SNS・楽曲リリースを展開しました。
- 現実世界とバーチャル空間の映像・音声・人（アバター）をシームレスに融合させる「メタバーズXRプロダクション」を開発し、映像情報メディア学会の技術振興賞「コンテンツ技術賞」を受賞しました。



活動報告



テクノロジーで新しい
未来へ

テクノロジーの進化により、人々の生活が急速かつ大きく変化するなか、最新鋭の技術を伝えていくとともに、日々の活動にも取り込みます。

- AIチャットボット「Go-chat」や顔認証AIシステム「カオメタ」、報道局で開発した文字起こしツール「vaboo」等を活用し、業務効率を向上化させています。RPAロボを127台稼働することで、定型業務を削減し、人的リソースを年間10.6万時間以上創出しています。
- 「リモートCG・テロップ制作機能」「リモート報道編集機能」を導入したことで、スタッフが現地に行く手間を省くこと、大型設備の搬入搬出をなくすこと等が可能となり、業務の効率化および費用削減に寄与しています。
- カメラ映像を自動で切り替えるスイッチングシステムを開発し、現場スタッフの業務効率化を推進しました。この技術が評価され「日本民間放送連盟賞技術部門 優秀賞」「日本映画テレビ技術協会 技術開発奨励賞」及び「映像情報メディア学会 技術振興賞」を受賞しております。



活動報告



人に優しく共に生きる

互いの個性や価値観を尊重し、すべての人が暮らしやすい社会を目指します。また、従業員のさまざまなライフステージを支援していきます。

- すべての役職員が人権尊重の重要性を改めて認識すると共に、今後も公共的使命を果たし、社会から信頼される企業であり続けるために、「テレビ朝日グループ 人権方針」を策定しました。
- 5月に人的資本に関する方針を開示し、第84期中間報告書（23.4.1～9.30）でも特集記事「人的資本に関する方針とDXへの取り組み」として取り上げ、株主の皆様にも周知しました。
- 番組制作における差別・人権・ジェンダー平等などに関する事例を社員・外部スタッフに周知すべく、審査委員会（毎月開催）や審査事例勉強会（計25回）を開催しました。
- 令和6年能登半島地震の被災者を支援をするために「ドラえもん募金」を実施し、お寄せいただいた募金にテレビ朝日からの寄付金などを加えた総額2億1,000万円を、テレビ朝日福祉文化事業団を通じて石川県に寄託しました。
- 社員の健康と各ライフステージにおける生活をサポートするため、様々な制度の導入やセミナーの開催を行ないました。（「エンゲージメントサーベイ」の実施、女性社員向けキャリアデザイン研修の実施、年次有給休暇付与における正社員と契約社員の格差解消、等）

2023年度 審査事例勉強会
延べ受講者数 **2,823名**

活動報告



いつまでも信頼
される会社に

放送局・報道機関として公共的使命を全うするため、ガバナンスを強化し、コンプライアンスを徹底します。情報提供の充実に努め、経営の透明性を高めるとともに、社会のルールや様々な要請に適う体制を常に構築していきます。

- コンプライアンス意識を高めるため、階層別にテーマや内容を決定し、全ての役職員を対象に研修を実施しました。
- 外部環境の変化に対応し、情報セキュリティ関連規定を改定しました。また、情報セキュリティ内部監査基準を定め、顧客個人情報を取り扱う部門を対象に内部監査を行い、部門毎の課題やリスクを洗い出し協議して対策を策定しました。情報セキュリティに関する教育、標的型攻撃メール訓練、実践的な有事対応訓練も実施しております。
- 下請法遵守を徹底すべく、グループ会社を含め、勉強会を実施しました。制作会社との取引実態の定期チェックを行っております。
- 株主総会に先立ち、株主様に向け、ホームページに総会関連の映像を掲載し、2023年度からスタートした総会資料の電子提供制度についても、わかりやすく説明しました。

今後の予定

- 2024年春に「5つの重点テーマ」（マテリアリティ）を更新し、発表
- 2024年秋に「統合報告書」を開示
- 国連とメディアの共同キャンペーン「1.5°Cの約束」に継続参加
- TCFD提言の趣旨に沿った気候変動に関する情報を開示
- 人的資本に関する方針に従った社内環境の整備
- 人権方針策定に伴う実施体制の構築